

①常光地区竣工記念碑（鴻巣市）



明治時代の耕地整理事業のモデルとなった鴻巣式ほ場整備発祥の地「常光地区」竣工記念碑。事業は、明治34～35年に実施。

②種足野通川地区（加須市）



県内最大規模の大区画に整備した県営ほ場整備「種足野通川地区」。大正5年に耕地整理事業で10a区画に整備され、その後、平成24年に1haを超える大区画化に整備し、現在では地元の生産組織が大規模に営農を展開。

③今泉農園（加須市）



自家栽培のイチジクやブルーベリーでジャムやクッキーなどの商品を開発し販売。

④柳生地区（加須市）



「柳生地区」は、本県で進める「埼玉型ほ場整備」のモデル地区。低コストで短期間に行うほ場整備を、全国に先駆け平成22年度から平成24年度に実施。

⑤意見交換



米づくり農家の方々を交えて、ほ場整備の必要性や課題について、意見交換。